

平成29年度 世界史Bシラバス

教科	地歴	科目	世界史B	学年	1	単位数	4	教材名	【教科書】新詳 世界史B 帝国書院 【副教材】新詳 世界史Bノート 帝国書院 明解世界史図説エスカリエ 帝国書院
----	----	----	------	----	---	-----	---	-----	--

1. 学習目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 年間学習計画

学期	月	大単元	大単元（章）	指導内容	配当時間
1 学期	4 月	1 部 諸 地 域 世 界 の 形 成 と 交 流	世界史への扉	自然環境と人類のかかわり① 気候変動と歴史 自然環境と人類のかかわり② 逆境からの挑戦	2
			序章 人類の出現	①人類の出現	2
			1章 オリент世界と地中海世界の形成	①オリент世界の形成 ②地中海世界の形成とオリентとの融合 ③ローマと地中海世界の成長 ④ローマ帝国周辺の西アジアとアフリカ	9
	5 月		2章 南アジアの形成	①インダス文明と統一王朝の成立	2
			3章 東南アジア世界の形成	①東南アジアの風土と諸国の興亡	2
			4章 東アジアのあけぼの	①中華文明の形成 ②秦漢帝国と東アジア	5
			5章 中央ユーラシア世界の形成と展開	①中央ユーラシアの風土と遊牧帝国の出現 ②古代遊牧帝国の興亡とユーラシアの変動	2
			6章 東アジア世界の変動と再編	①ユーラシアの変動と東アジア世界 ②東アジア諸地域の成長と自立	4
	6 月		7章 イスラーム世界の形成と拡大	①イスラーム文明の誕生 ②イスラーム世界の拡大	4
			8章 ヨーロッパ世界の形成	①地中海北方へ広がるキリスト教 ②西ヨーロッパの成長と拡大 ③封建社会の解体と王権の伸張	10
9章 ユーラシア大帝国の出現		①モンゴル世界帝国の出現	2		
7 月	1章 アジア諸地域の栄華と成熟	①明の国際秩序と東・東南アジア ②世界帝国清とアジア諸国の成熟 ③イスラーム世界の成熟	10		
2 学期	9 月	2 部 海 洋 に よ る 世 界 の 一 体 化	2章 大規模な分業体制の成立	①大航海時代～世界の一体化の始まり～ ②ルネサンスと宗教改革 ③スペインの盛衰とオランダの覇権	10
	10 月	3章 西ヨーロッパの覇権争いと世界的な分業体制の拡大	①広がる主権国家体制と17世紀の危機 ②プロシヤ・オーストリア・ロシアの台頭 ③イギリスとフランスの覇権争いと大西洋三角貿易	8	
	11 月	4章 環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生	①世界で最初の工業化 ②アメリカの独立 ③フランス革命と国民国家の誕生 ④ラテンアメリカにおける環大西洋革命	8	
		5章 イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	①イギリスの覇権と自由主義 ②ヨーロッパに広がる国民国家 ③アメリカ合衆国の拡大と国家統合	8	

学期	月	大単元	大単元（章）	指導内容	配当時間
3 学期	11 月	3 部 地球 社会 形成 の 模 索	6章 世界の一体化の進展とアジアの変容	①イスラーム諸国の変容と模索 ②南アジア・東南アジアの植民地化と社会変容 ③東アジア諸国の変容と模索	8
	12 月		1章 世界の一体化の完成とその影響	①帝国主義と世界分割競争 ②アジア知識人による体制改革の試み	8
	1 月		2章 世界大戦の時代	①第一次世界大戦と社会主義革命 ②第一次世界大戦とアジアのナショナリズムの展開 ③大衆社会の到来とファシズムの出現 ④第二次世界大戦とその惨禍	12
	2 月		3章 東西冷戦から多極国際社会へ	①アメリカの覇権と冷戦のはじまり ②多極化のはじまり ③米ソ二極化の終焉	8
	3 月		4章 相互依存を深める世界	①ソ連・東欧社会主義圏解体後の世界 ②グローバル化の動きと世界の変化	6
			現代 グローバル化の進行	資料を活用して探求する地球世界の課題	8

3. 評価の観点及び趣旨

観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性と現代世界の特質を世界的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を表現する。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

4. 評価の方法及び評価資料

- 日々の授業やノートのまとめ、宿題・課題などの取り組み状況
- 中間・期末などの定期考査や単元のまとめとして行われる単元テスト
- 夏休みや冬休みなどの長期休業中の課題
- 課題追求学習におけるレポートや発表
- 新聞の活用・図書館での資料(歴史書や写真集など)の活用

これらを学習過程ごとに設定された学習到達目標に照らし合わせて総合的に判断し、評価を進める予定。